

第136回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	別段預金	買掛金
受取手形	新株式申込証拠金	資本金	繰越利益剰余金
資本準備金	その他資本剰余金	未収入金	未払金
支払利息	受取利息	備品	車両
備品減価償却累計額	車両減価償却累計額	減価償却費	固定資産売却益
固定資産売却損	支払手数料	受取手数料	前払利息
未払利息	前受利息	未収利息	有価証券利息
繰越商品	未払法人税等	仮払法人税等	研究開発費
法人税等			

1. 当期首に、翌月末支払いの条件で営業用自動車 ¥ 2,000,000 を購入し、従来利用していた自動車（取得原価：¥ 1,600,000、減価償却累計額：¥ 1,440,000、記帳方法：間接法）については、¥ 100,000 で下取りしてもらえることになった。なお、この下取り価格は新車代金の支払額から差し引かれることになった。
2. 決算にあたり、当期の法人税 ¥ 1,500,000、住民税 ¥ 300,000、事業税 ¥ 420,000 を見積もった。なお、中間申告のさいに、前年度の納付税額の合計 ¥ 3,700,000 の半分を現金で納付していた。
3. 当月の研究開発部門の人件費 ¥ 400,000 と、研究開発用の材料と消耗品の購入代金 ¥ 200,000 を小切手を振り出して支払った。また、研究開発目的のみに使用する遠心分離装置 ¥ 800,000 を購入し、代金は翌々月末に支払うこととした。
4. 決算の2か月前に満期の到来した約束手形 ¥ 2,000,000 について、満期日の直前に手形の更改（満期日の5か月延長）の申し出があり、延長5か月分の利息 ¥ 50,000 を含めた新たな約束手形を受け取っていたが、決算においてこの取引が未処理であることが判明した。なお、利息に関する決算整理仕訳も合わせて行った。
5. 1株につき ¥ 5,000 で発行することとした新株1,000株の募集を行い、申込期日までにその全額が申込証拠金として別段預金に払い込まれていたが、本日、申込期日が到来したので、その払込額を資本金に振り替え、かつ別段預金は当座預金へ振り替えた。なお、資本金への振り替えは、会社法で認められている最低額を計上することとした。